

事務事業名	楡形北保育所保育活動費		所属部局	保健福祉部	単位番号	5157				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	楡形北保育所	課長名	小野 まゆみ				
			所属担当	楡形北保育所	担当者名	小野 まゆみ				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 03	項 02	目 04	細目 120	細々目 06
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	28	児童福祉の充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	児童福祉法・保育指針・南アルプス市立保育所条例 南アルプス市立保育の実施に関する条例・南アルプス市立保育の実施に関する条例施行規則						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 児童の保育活動に必要な運営経費 主なものは、嘱託医報償、講師謝金、教材等消耗品、教材・器具等修繕料、賄材料費、児童・職員検査料、職員研修負担金等。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)						
				報償費 旅費 需用費 役務費 負担金補助及び交付金 計 0						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない									
26年度活動内容	適正な予算の執行 児童に係る各種事業の執行	⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 予算額</td><td>円</td></tr> <tr><td>イ 各種事業</td><td>件</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 予算額	円	イ 各種事業	件	ウ	
名称	単位										
ア 予算額	円										
イ 各種事業	件										
ウ											
27年度活動予定	適正な予算の執行 児童に係る各種事業の執行(おもちゃ、絵本を順次更新する。)										
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない									
① 入所児童		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 児童数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ 保育所職員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 児童数	人	イ 保育所職員数	人	ウ	
名称	単位										
ア 児童数	人										
イ 保育所職員数	人										
ウ											
② 保育所職員											
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない									
① 保育指針に沿い充実した保育を受けることができる。		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 卒園児童数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ 職員各種検査率</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 卒園児童数	人	イ 職員各種検査率	%	ウ	
名称	単位										
ア 卒園児童数	人										
イ 職員各種検査率	%										
ウ											
② 保育所職員が健康で保育に従事することができる。											
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない									
安心して子育てができる環境づくり(児童福祉の充実)		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 保育所に満足していると答えた保護者の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 保育所に満足していると答えた保護者の割合	%	イ			
名称	単位										
ア 保育所に満足していると答えた保護者の割合	%										
イ											

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	9,496	8,872	9,403	9,857	9,857		
		事業費計(A)	千円	9,496	8,872	9,403	9,857	9,857	0	0
		正規職員従事人数	人	7	6	6	6	6		
人件費	内訳	延べ業務時間	時間	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080		
		人件費計(B)	千円	9,466	9,466	9,466	9,466	9,466	0	0
		(A)+(B)	千円	18,962	18,338	18,869	19,323	19,323	0	0
活動指標	ア	円	10,052,000.0	9,877,000.0	9,877,000.0	9,877,000.0	9,877,000.0			
	イ	件	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0			
対象指標	ア	人	123.0	122.0	110.0	110.0	110.0			
	イ	人	19.0	18.0	16.0	15.0	15.0			
成果指標	ア	人	34.0	28.0	34.0	27.0	23.0			
	イ	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
上位成果指標	ア	%								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和48年1月に新築開所し、さらに昭和54年に増築、平成16年3月に全面改築している。定員は100名である。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	ここ数年120名前後が入所しており、今年度も最終的に122名となるが、保育所周辺に分譲住宅が整備されてきているものの、来年度の入所児童は、私立保育園への入所が多く公立は減少傾向にあり、今後の課題でもある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	昨年のアンケート調査で、保護者から行事等の実施日や内容について要望があった。今年度の活動については、保護者の要望に出来るだけ応えられるよう、執行部の打合せや説明を詳細にしながら検討をした。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	職員給与を本課予算に一括計上するなど、経費の効果的、効率的な運用を進めてきた。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	楡形北保育所保育活動費	所属部	保健福祉部	所属課	楡形北保育所
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 児童福祉の充実につながり、上位目的に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 民営保育所は、運営費が国・県からの交付金となるため、経費削減に繋がる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 児童福祉法に基づいた保育を行なっているため。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 保護者との連携をおこなうなかで信頼関係を築き、子どもたちの安心安全な保育の充実を行ってきた。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ある程度規模があるため、他と統合は出来ない。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 児童福祉法に基づいた保育ができない。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 働いている保護者の就労支援や保育に欠ける児童の保育活動が出来ない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 児童数で予算計上をしているものが多く、保護者の協力も得る中で事業を行なっているため、限界だと考える。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 児童福祉施設の設備及び運営についての最低基準に示された職員数で設置しているため、職員の削減はできない。 正職員と臨時職員との割合は、現状で限界だと考える。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 期間を定め募集し入所を決定している。また、受益者負担も適正な基準で行なっているため公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	児童数に対して保育士配置基準が設定されているが、最近は障害を持った児童の入所も増加している。保護者の理解を得ることが困難な場合も多く、保育士の対応も難しくなっている中で、児童の安全管理を優先するためにも、配置基準の見直しが急務と考える。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 市が進めているCLM研修や保育士研修会等を今後も継続していくことが保育士の資質向上に結びつくこととなり、多くの職員が参加できるような体制づくりを図っていく。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑪	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑪																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					